

SWIFTes ユーザー会報告書

Vol.4

開催日

11月28日(火曜日)
29日(水曜日)

【会場】 大塚比叡山荘(大塚製薬様保養所)
【主催】 SWIFTesユーザー会事務局



この度、大塚製薬様のご厚意により、「ご紹介しました。続いて、アドビシステム社比叡山保養所「大塚比叡山荘」にて第4回SWIFTesユーザー会が開催されました。比叡山はまさに紅葉まつさかりの季節で、宿泊も可能な比叡山荘は海と山が同時に望める素晴らしい環境にあります。関西地区での開催は初めてでしたが、製薬関連企業11社19名様に参加いただき、CACからも8名が出席いただきました。セッションでは、まずCACが新バージョンであるSWIFTesバージョン3.0の内容を

ご紹介しました。続いて、アドビシステム社様にPDF設定とAcrobat 8についてご紹介いただき、Q&Aでは、お客様が業務でAcrobatを利用する際に抱えておられた細かい多数の質問が挙げられました。さらにフリーディスカッションでも、いつもどおり大変活発に意見交換が行われました。懇親会では、和やかな雰囲気での歓談の中でさまざまなご意見や情報が交わされ、今回のユーザー会も盛況のうちに終了することができました。

第4回 SWIFTesユーザー会開催

プログラム	
セッション1	『SWIFTes ver3.0の紹介』
セッション2	『PDFの変換設定について ～Adobe Acrobat 8の説明(Q&A)』
セッション3	フリーディスカッション ～テンプレートの共有について
セッション4	『PDF関連ツールの紹介』
セッション5	d-FormcheckerおよびISIToolBoxのご紹介
懇親会	

セッション1 SWIFTes バージョン3.0の紹介

株式会社シーエーシー
医薬BTOユニット 医薬BTOセンター
土屋 聡

SWIFTesバージョン3.0では、起動時のMS Wordのオプション設定の自由化など、さまざまな機能が改善されました。皆様のご意見も取入れ、より自由度の高いドキュメント作成支援ツールになりました。また、StyleCheckerはEXE版とWordアドイン版をご用意しました。両版では、チェック項目、チェック対象ファイル数、チェック結果の表示と確認、チェック箇所修

正などいくつか違いがあります。アドイン版のテキストボックスやヘッダー&フッターの中のチェックは今後の改善案件です。StyleCheckerは、SWIFTesを導入済の場合、SWIFTesフォルダにStyleCheckerのドットファイルを置くことで使うことができます。SWIFTes以外のドキュメントにも使いたい場合は、各マシンのスタートアップフォルダ(Wordで指定)にStyleCheckerを置くことで、特別なアドイン処理をせずに使うことができます。

皆様からいただいたWindows Vistaへの対応、StyleCheckerとの融合、参考文献のデータベース化、Wordのグループ文書機能への対応などのSWIFTesに対する要望は、今後のユーザー会で皆様と共に検討・対応しSWIFTesをさらに進化させていきたいと考えています。

セッション2 PDFの変換設定について Adobe Acrobat 8 の説明(Q&A)

アドビシステムズ株式会社
プロダクト&セールスエンジニアリング部
田邊 佳嗣氏

PDFには、異なるプラットフォームで情報を共有する、PostScriptに換えて印刷出力する等の役目があります。オフィスワーカーの皆様の場合、通常WindowsのGDIを経由してPDFを生成しますが、印刷業の方々は、自動組版や

Creative Suite等から直接もしくはPSファイル経由でPDFに変換します。CMYKデータを基準とする印刷業の方々のPDF使用用途とオフィスワーカーの皆様の用途は明らかに異なります。オフィスワーカーの皆様が混乱してしまう理由は、こうした印刷業の方々に必要な設定が多く含まれているからでしょう。当社では、PDFの変換設定の「PDF設定」において(プレス品質、高品質印刷、標準)などのPDF変換の設定があり、印刷業やオフィスワーカーの方々向け、などの設定がセットされており、この「標準」の設定をベースにPDF変換をいただければ、ほぼeCTDガイドラインに沿ったドキュメントを作れると考えます。

PDFの作成には、PDF Makerを経由して作成する方法とPDFプリンタを使う方法がありますが、皆様にはWordのPDF MakerのPDF変換をお奨めします。その理由は3つございます。

PDFプリンタの変換方法ではプリンタに出力する形でPDFを生成するため、サイズやレイアウトが若干変わってしまう事。また、Acrobatにて入力した注釈データをWordから直接取り込み、Wordの注釈データに変換できる事。そして皆様が一番重要な事としてはWordで設定された「スタイル」見出し「ブックマーク」をAcrobatの「しおり」に変換できる事です。

Adobe Acrobat 8では、PDFからWordデータへ書き戻す等のPDF再利用機能、Adobe Readerしかお持ちで無い方を含

めたパラレル作業でのレビューが可能。な共有レビュー機能、WordやExcelなどのデータを一つのPDFファイルに変換する前に各データを確認しながら結合できるPDF結合機能、隠れた機密情報等も確実に削除する墨消し機能など、さらなる強化が図られています。皆様のドキュメント作成に、ぜひAcrobatをお役立てください。

セッション3

フリーディスカッション

Sテンプレートの共有について

提供するテンプレートの充実、CACにとっても課題です。スタイルテンプレートについては、ユーザーの各社様が持つノウハウを集積し、モデルドキュメントのような型を作っていければ理想的ではないでしょうか。それにより、CROやメディカルライター等へ外部委託する場合でも、さほどバラつくことなく各社のスタンダードに拠つてドキュメントを作成できると考えております。また、各社様でスタイルテンプレートを必要に応じて更新しながら、使いやすい仕様にアップデートしていくことで、より高度なモデルドキュメントを共有していくことができます。コンテンツテンプレートについては、ある程度は標準化できるはずですが、各社で異なる点が多いため、どこまでやるべきかは議論の余地があると思います。いずれのテンプレートに関しても、ユーザー各社様からご意見とご要望をいただき、弊社が技術的にサポートして、実現していければと存じます。

セッション4

PDF関連ツールの紹介
PDF注釈ツール試作品
(ドリームプラネット社製)

協和発酵工業株式会社
医薬研究開発本部 開発推進部

都丸 淳之 氏

我々がドキュメント管理システムを使う中で、「あつたらいいな...」と考えていた機能を「PDF注釈ツール」としてドリームプラネット社に試作していただきました。当社では、現在、PDF注釈付けの規則に沿って5つの情報(何行目、修正前、修正後、修正理由またはコメント、重要度)を4つの区切り文字(@@)で仕分けして入力しています。本ツールでは注釈入力用の新しい画面が提供され、もうPDF注釈付けの規則を覚える必要はありません。また、重要度に応じて、注釈の色を赤、黄色、緑に表示できます。複数のレビュー者による多数の注釈を審議するときは、重要度でふるいかければ会議時間を短縮できるでしょう。今後、本ツールについてはAcrobatのレビュートラック機能などと絡めた機能、マウスで囲んだ本文部分を改行記号などで注釈にコピーできる機能の開発などを考えています。

セッション5

d-Formchecker および
ISIToolBoxのご紹介

株式会社シーエーシー
医薬BTOユニット 医薬BTOセンター

大橋 ひとみ

d-Solution社製の
d-Formchecker for PDF

は、PDF上のフォントの一括チェックを行うAcrobatアドオンツールです。eCTDガイドラインで定められているフォントやサイズを登録し、PDFの中をチェックさせて、フォントやサイズの違反等のエラーを見やすい色分け表示で確認できます。また、PDFの中で実際にどのフォントが使われているかを洗い出す機能もあります。Acrobat 6.0以上に対応し、価格はStandard alone版1クライアントにつき5,800円、Network版148,000円(Client無制限のサーバー用CPUライセンス)。さらにCACでは、その後のQCを目的にISIToolBoxもご提供しており、今後もこうしたものをいろいろご紹介していきたいと考えております。



このイベントレポートに関する
お問い合わせ先

SWIFTeS ユーザー会事務局

株式会社シーエーシー

医薬コラボレーション部

TEL: 03-6667-8032

〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町24-1

URL: <http://www.cac.co.jp/pharma/>

E-Mail: prasma@cac.co.jp

健康と笑顔が溢れる明日へ、医薬とともに歩むITパートナーCAC